

# 一般社団法人園芸学会平成 29 年度秋季大会シンポジウム

来る 9 月 2～4 日に酪農学園大学で開催される一般社団法人園芸学会平成 29 年度秋季大会において、下記の課題によりシンポジウムが開催されます。

いずれも公開シンポジウムで、学会員以外の方も参加できます（参加費無料）。最先端の園芸学研究について広く知っていただく良い機会ですので、皆様のご参加をお待ちしております。

日時：平成 29 年 9 月 2 日（土）13 時 30 分～17 時

場所：酪農学園大学

## I. 果樹の省力化技術開発の現状と課題（公開シンポジウム）

コンビーナー：佐々木真人（岩手農研セ）

1. 省力型樹形を基盤とする果樹の省力・軽労型生産技術体系の構築  
草場新之助（農研機構果樹茶部門）
2. 経営規模拡大と高品質カンキツ生産の両立を目指すマルドリ方式を基軸とした技術体系の構築  
根角博久（農研機構九沖農研）
3. 長野県におけるリンゴの高密植栽培  
檜本克樹（長野果樹試）
4. 果樹類の盛土式根圏制御栽培法の開発  
大谷義夫（栃木農試）
5. 果樹作業の機械化研究の展望  
大西正洋（農研機構革新工学センター）

## II. 地下灌漑・地中点滴灌漑システムを活用した露地野菜安定生産技術（公開シンポジウム）

コンビーナー：佐々木英和（農研機構野菜花き部門）

1. 畑地用地下灌漑システム OPSIS を活用した野菜生産  
高橋 徳（農研機構野菜花き部門）
2. OPSIS を活用した露地野菜での栽培実証  
江尻径史（宮崎総農試）
3. 地下水位制御システム（FOEAS）を活用した野菜の安定生産技術  
中野有加（農研機構野菜花き部門）
4. 地中点滴灌漑による根深ネギの生産技術  
末貞辰朗（JA全農）
5. 数値解析による OPSIS の設計と運用の最適化  
坂口 敦（山口大院創成科学研究科）

## III. 北の大地で考える ～施設園芸における省エネ管理技術の現状と課題～（公開シンポジウム）

コンビーナー：川嶋浩樹（農研機構西日本農研）

1. 新エネルギー等を活用した寒冷地における省エネ施設園芸の展開方向  
生方雅男（拓殖大北海道短大農学ビジネス学科）
2. 積雪寒冷地での花き生産における地下水熱源ヒートポンプの優位性と運転性能  
古野伸典（山形庄内支庁農技普課産地研究室）
3. EOD 反応を利用した花き類の省エネルギー型効率的生産技術

道園美弦（農研機構野菜花き部門）

4. 収量・品質を維持して省エネを可能にする局所温度管理（局所加温）技術  
河崎 靖（農研機構野菜花き部門）
5. 施設内の気流を可視化するシミュレーション技術 ー省エネに向けた取り組み  
伊吹竜太（宮城大食産業学部）

#### IV. 果実内部評価の非破壊計測に関する原理および事例（公開シンポジウム）

コンビーナー：櫻井直樹（広島大院生物圏科学研究科）

1. 有限要素法による果実の内部障害のシミュレーションと音響振動法による予測  
秋元秀美（広島大院生物圏科学研究科）
2. モモの品質測定ー核割れの検出ー  
中野龍平（岡山大院環境生命科学研究所）
3. 和ナシの内部障害について  
櫻井直樹（広島大院生物圏科学研究科）
4. 音響振動法によるカキの熟度および内部品質の評価について  
鈴木哲也（岐阜農技セ）
5. 果実（メロン・スイカ）の貯蔵と超音波型の音響振動装置の試作  
児島清秀（新潟大農学部）
6. 近赤外光、NMR, X線による青果物の非破壊評価法  
黒木信一郎（神戸大院農学研究科）